

●心機一転表 D66 ROC

ダイス目	境遇	解説	宿星	解説	
1	1~2	神託	目的を果たしたあなたは神仏や、英傑を導く謎の女性“玉梓”によって、時空破断によって乱れた天下を回復するよう神託を受けた。	平和の回復	あなたは天下万民に笑顔でいてもらいたい。もう誰の涙も見たくないのだ。だからあなたは、あらゆる悪と戦い続ける。
	3~4	金銭	あなたは目的を果たした。だが、その過程で（あるいはその結果）、多額の金銭が必要になってしまった。まっとうに働いたのではそんな金はとうてい得られない。	一攫千金	あなたは莫大な金銭を必要としている。それは、まともに働いて稼いだのではとうてい手にすることの出来ない額だ。
	5~6	逃亡	確かにすべては成し遂げられた。だがあまりにも代償は重かった。あなたは追われる身となった。裏柳生から、忍者から、あるいは閻羅王から。逃げなければならぬ。	逃亡	あなたは追っ手から逃げ続けることだけを考えている。逃げて逃げて逃げ切れれば、そこに新しいものが見えてくるはずだ。
2	1~2	家庭	目的は果たされた。あなたの旅は終わった。だがあなたは気づいてしまった。孤独であることのアマリの辛さに、ひとり寝の寂しさに。あなたが欲するもの、それは家族だ。	大恋愛	あなたは自分の配偶者としてふさわしい人物を探している。それはあなたにとって愛するに足る、天下一の人物でなければならぬ。
	3~4	志士	目的を果たす過程で、あなたは祖国が危機にあることを知った。目的を果たした以上、次は国に報いるべき時が来たのだ。今こそあなたが立たねばならぬ。	救国の志	あなたは祖国を救うために活動している。具体的な主義や主張は自由に決めてよい。
	5~6	救済	これまで目的を果たすための冒険の途上で、あなたは数々の人々に救われてきた。次はあなたが誰かを救う番だ。そうではないか？	人を救う	たとえ何の見返りがなくても、あなたは困っている人を見捨てることなどできない。誰かのために戦うことが、あなたの生き甲斐だ。
3	1~2	呪い	なんということだ。あなたが目的を果たしたことが、神仏の怒りに触れてしまった。あなたは永劫に呪われ、それは子々孫々まで続くことだろう。	呪いを解く	あなたには呪いがかかっている。呪いの内容そのものはあなたが決めてよい。この呪いを解くために、あなたは日々を送っている。
	3~4	旅路	不思議なことに、目的を果たすために旅したあの日々こそが、今やあなたの欠くべからざる一部になってしまった。もはや一所に留まることはできない。	旅をする	あなたは世界の果てまで旅をしたいと考えている。草を枕に風を子守歌に、あなたはどこまでもどこまでもひたすらに歩いていくのだ。
	5~6	没落	あなたが目的を果たす過程で、あなたの家はどのような没落してしまった。あなたが第二の人生をかけて家を建て直さねば、遠からずお家は断絶してしまうだろう。	家名再興	あなたは自分の属するイ工の名を高め、その地位を向上させたいと願っている。家名を再興することこそがあなたの望みなのだ。
4	1~2	仕官	目的を果たしたあなたは考えた。これからの自分には仕えるべき主君が必要だ。第二の人生を忠義のために尽くすのだ。だが、それは誰がふさわしいのだろうか？	主君の探索	あなたは仕えるべき主君を捜している。あなたの実力をふるうに足る人物を見つけること、それがあなたの旅の意味だ。
	3~4	天啓	あなたは目的を果たす旅の途中、さまざまな妖異や羅刹と戦った。そして、あなたの目的が果たされたとしても、妖異との戦いは終わらないことを悟ったのだ。	妖異と戦う	世界を守るため、あるいは妖異に奪われた大切な人の復讐のため、あなたは妖異と戦うことを決めた。
	5~6	修行	あなたはひとつの試練を乗り越えた。だが、次なる試練があなたを求めている。さらに強く高みへと昇ること、今やそれそのものがあなたの目的となったのだ。	強い奴を探す	あなたは己が立ち向かうべき強敵を探し、それに打ち勝つことを求めてくれる。強敵との戦いこそが、あなたをさらに強くしてくれる。
5	1~2	喪失	哀しいことだが、あなたは目的を果たす過程であまりにも多くのものを失ってしまった。その喪失感が、あなたを包み込んでいる。それを癒やすためには戦うしかない。	世界への叛逆	あなたは世界のあらゆる不条理に立ち向かう宿星を帯びている。誰もがあきらめてしまう不条理であっても、あなたは叛逆せずにはいられない。
	3~4	贖罪	あなたは目的を果たすために罪を犯した——少なくともあなた自身はそう思っている。目的を果たした今、あなたが成すべきことはその罪を償うことだ。	罪を償う	あなたの犯した罪はあなたの中では消えていない。あなたはその罪を償うためならば、命も投げ出すことだろう。
	5~6	異界	あなたは冒険の途中、異界を見た。神、妖怪、仙人、仏——それらの世界にあなたはどうしても引きつけられてしまったのだ。	異界への憧れ	あなたは異界に憧れている。可能ならば現世を捨てて、異界へと旅立ちたいと思っている。もはやこの世のしがらみはないのだから。
6	1~2	伝承	あなたはついに大望を果たした。その過程であなたは様々な奥義秘術を悟った。だが、あなたが死ねばそれは失われてしまう。あなたはそれを伝えたいと思った。	弟子を育てる	あなたは弟子を見だし、その人物にあなたのすべてを伝えたいと思っている。あなたが死んでも、秘伝は不滅なのだから。
	3~4	天誅	あなたは目的を果たす過程で、あまりにも多くの悪を見た。この世界を蝕む悪を、あなたはもはや許しておけないと決意した。それがあなたの第二の目的となったのだ。	悪は許さぬ	あなたは悪を許しておくことが出来ない。具体的に悪に対してどのような裁きを下すかは、あなたが自由に決めてよい。
	5~6	泰平	目的を果たしたあなたを待っていたのは、恐るべき退屈だった。空虚なまま過ぎていく平穏な日々。この暖かな牢獄でこのまま朽ちていくのだろうか？	退屈をはらす	あなたは退屈で退屈に満ちた日常を粉らわしいと思っている。そのためなら、妖異だろうと何だろうと望むところだ。